

シティプロ通信

No.4 2018/11/15
by 市民ワーキング会議

【文責】北川雄士
(株式会社いろあわせ)

発行
彦根市シティプロモーション
市民ワーキング会議

連絡先：〒522-6399
彦根市芥橋 2-4-6

電話：0749-20-6399
E-mail: iro@iroawase.co.jp

第4回 彦根市シティプロモーション 市民ワーキング会議

開催日 平成30年11月7日 19時から21時 会場：ビバシティホール 研修室

全5回のワーキング会議のうち4回目となりました。
まず今までの進捗状況を市長に伝えている旨を参加者に報告。そののちに前回の会議であった
「彦根の人・場所・こと」に関する総括を行いました。

前回、グループで一つのテーマを決めてその応援の方法を考えましたが、今回はそのテーマプラスαの話を考えました。事前アンケートでは、市民ワーキング会議に参加している方々の六割近くが何かの活動をされていたり、応援したいと考えている方が多く、これを深めていきます。

今回のシティプロモーション会議で目指しているものは、みなさんが具体的にアクションを起こせるものを作り出せることです。戦略策定委員会でも考えられていることは三年をかけて「みんなが手を組んでやって行く」

ことです、みんなとは市民同士であり、市民と行政でもあり、それらが共同・共成するためには、活動をしていることを知らない人に知ってもらい、発信する場を作ることです。それを見て自分もやりたいと思う人が増えてくるといふ循環を作って行くことです。三年の間に新たな事業が生まれ、三年以降も循環し続けるプラットフォームの構築を目指します。

前回、決まったグループのなかで応援する人を決めましたが、今回は先に自分がやりたいこと、やっていることを出していただき、その人を応援する人たちで集まってグループを作りました。

もちろん、何かを具体的にやりたい人だけではなく、やりたい人、参画したい人、応援したい人、興味がない人に分かれ、市内ではまだ興味がない人も多いのが実情かも知れませんが、この会議に参加している市民は比較的熱がある人々です。

今回は5つのテーマに絞り分かれてみました。そして自分がその中でどんなことができるのかも考えてもらいます。

○大学をひらきたい 学生×教職員×地域人

大学という空間を、もっと開かれたものにして地域との交流を大切にしたい。

そこにあるものが利用できる。

いろんな人が来ることで新しいものが生まれる。

繋がりをもちたいけど、持てない人の仲介はできないか。

誰もが困りごとを相談できる掲示板を作る。

○商工会議所青年部 新人会員募集!!

商工会議所青年部の会員になってもらう為に彦根での起業をサポートしたい

チャレンジショップの発展系で既に店を作り数日間からの店長体験などを開いては？

簡単に商工会議所会員の御子息に入ってもらうためにお願い行脚をしてみても？

入会すると会社のロゴを無料で作る。

○自分の歌(オリジナルソング)を持っている比率を日本一に!

作曲をする人は多いが、その曲に詞を付けるのは難しい。そんな曲に市民が作曲して自分のオリジナルソングを作る。そのときの自分の気持ちやイベントを歌うのは思い出にもなります。

まずは3人の曲を作ることにした



○未来食堂

東京などで行われている未来食堂を彦根でも作りたい。花しょうぶ通り商店街がハードは提供してくれるので、ソフト面を考えたい。食堂に向かうまでの道に様々なヒントをばらまくゲーム感覚で楽しんだりしてみる。まずはマップを作る

○ゆるキャン

ゆるいキャンプを企画してみたい。
簡単な楽器を持ち込んだり、薪を持ち込んで、簡単な気持ちで参加できるキャンプ。
ピクニック部や焚火部など小さな部を作りゆるくする。



最後に、戦略策定委員会の座長でもある滋賀県立大学の田中元子(※1)さんが彦根にお越しになられた時の感想を書かれたフェイスブックページを紹介されました、敢えて挑発的に書かれた記事を参加者がどう思うのか投げかけられます。

共感か、批判か、さまざまな意見があるような内容でしたが、街の魅力発信を考えるひとつの投げかけになる内容だったのではないのでしょうか。これを受けて、二人一組になりシティープロモーションとは何か?という話を参加者同士でいただきました。

市の担当者との話で今までの事業費を付ける付けないでなく行政が持っている知恵を市民に提供出来ないか?例えば、イベントを開催する時の道路使用の件でどういう書式で警察に出せばいいのかや飲食が伴うイベントでの保健所への届け出などのアドバイスの対応が出来ないか?という話が出来ました。

(※1)

東京で『喫茶ランドリー』を主宰されている田中元子さんが facebook で彦根にお越しになられた事を記事にしてくれました。外から見た彦根のイメージですが外からの視点に会場内では頷く方が多かったですね。

田中元子さんの facebook ページ <https://www.facebook.com/hanamotoko/posts/10210563582884844>

次回の市民ワーキング会議（最終回）

第5回 12月5日（水）19時から21時

参加者の声

- 地域活性化を課題にしている学生の一言で「彦根には活動している人が沢山いるが「まち」としてのテーマが統一できていない」という発言に目からウロコでした
- シティープロモーションの方向性を話し合う時間があってよかった
- 少しでも計画が進みように手伝えればよいと思いました
- 応援できるテーマが決まって話しやすかった
- 普通の生活が楽しい街が大切で観光一極集中になってはいけないと感じた
- 多様なスポットや魅力があることが「魅力」
- 多様なコミュニティができるイベントが出来れば面白そう
- 自分の中で良い悪いや賛成反対の結論は出ていますが、定住して見えなくなってしまった視点を気づかせて貰いました
- あらためて人が大切。彦根城・ひこにゃん・歴史は大きな箱であって、肝心なのは中に住んでいる人、一人一人に魅力があって人情や温かさを発信していくことで箱の中身が充実するのではないだろうか
- 市民がまちに参画や参加することの大切さを感じる
これまではモノやサービスを提供する側と受け取る側が明確に別れていたが、これからは時や場所の違いで役割が変わらないといけない
- 結局「人」だよなって話をしました。課題はいかに「人」を市民と繋いでいくか
- ローカルな生活背景から抱えるモノや場所を「いいな」って思う感性には共感できた
- 手を繋ぎやすい環境で発信は無敵大に出来る!
- お城などの観光地は人を外から呼ぶのに力を発揮するが、繰り返し来て戴くとか移住定住に繋がるにはそれ以外の魅力が必要だと思った
- キャスルロードはヒトツのまとまりではない、もっと彦根を見て、鳥居本の端っこから新海浜の端っこまで彦根です
- やりたい事のグラデーションがバラついていてゴール地点はどこ?
- 市民活動にも種類があり考え方に相違は簡単に埋まらないので考え方の合う人を探したい